

コープ災害ボランティア ネットワークニュース

第51号

2011年12月発行
東京都生活協同組合連合会
コープ災害ボランティアネットワーク幹事会
03-3383-7800

第11期 コープ災害ボランティア養成講座がスタート!

2011年度のコープ災害ボランティア養成講座は全4回とコンパクトにし11月からスタートしました。今回の受講生は21名と少ないのですが、東日本大震災を受けそれぞれの思いを持ち寄って講座に臨んでいます。自助、共助を大切に地域団体との連携を学び、仲間づくりの交流をしていきます。

開講にあたって



CO災ボ的屋代表幹事

コープ災害ボランティアネットワーク(以下CO災ボ)では東日本大震災の募金に取り組みました。地域力を発揮できるようにみんなで学んでいきましょう。



CO災ボ大矢副代表幹事

この講座は阪神淡路大震災がきっかけとなって始まりました。コープは自主性、公益性のもと、力を合わせることで、参加者が作っていく場であり、きっかけを育てていく場です。

ボランティア

ミニ学習会

『東日本大震災の被災地から見てきたこと』



東京災害ボランティアネットワーク
福田事務局次長

東京災害ボランティア・ネットワーク事務局次長福田信章氏より、南三陸町での支援活動から見てきたこととお話いただきました。『社会が持っている課題が災害時に急激に見えてきます。普段から社会の課題に目を向けていくことが減災にも繋がります。避難所の運営が違うとその後が全く変わってしまいます。自主運営していた避難所は連帯感が生まれ、ボランティアが全部やっていたところはトラブルが耐えませんでした。ボランティアのあり方でも大きく変わります。今、被災者は避難所から仮設住宅に移っています。私たちは被災者に寄り添う活動をしています。』

3. 11その時あなたは?

作事中.....9名
家にいた...7名
外出中.....4名
(病院・買い物・レッスン)

建物の中18名
建物の外 2名



困ったこと・大変だったことは?

家族などとの**連絡**が取れず、身の回りの**情報**がわからない。**交通**がストップした。エレベーターが止まった

正しい情報を
聞くことが大切



震災後は...

計画停電・ガソリン不足
寝るのが怖い、地震酔い
チェーンメール
買占め、物不足



グループ交流

役に立ったことは?

PHSは繋がり**連絡**がとれた。**情報**は携帯のワンセグが役立った。ラジオ・テレビのありがたみを感じた。

家族の声かけ、家族が無事でよかった。
食料の備蓄・緊急時の**備え**が役立った

帰宅時

帰宅訓練やって良かった! 歩きやすい靴を履いていた。ペットボトル・飴など持っていた。交番・公衆電話・トイレなどあって助かった。

もしもの備えに



開校式前に**募金授与式**を行いました。

6月から10月までの中野駅街頭募金及びチャリティーオークションなどでの募金を東京災害ボランティアネットワークへの授与式を行いました。4月14日に中央共同募金会に支える人を支えるための「災害ボランティアNPの活動サポート募金」が設立されたのを受けて、直接支援金として届ける事が出来る様になりました。

福田氏に目録を手渡す
的屋代表幹事



東京都・小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市 合同総合防災訓練



秋晴れに恵まれた今年の合同総合防災訓練は初めて4市合同で、10月29日(土)都立小金井公園で開催されました。今年は東日本大震災によって明らかになった防災上の課題に対応した実践的な訓練が行われました。そして訓練の統一テーマでもある「自助・共助」と「連携」をどのように発揮するか、行政・公共機関、住民、ボランティアの取り組みが各所で行われました。

支援物資仕分け ボランティア



ヘリコプターやトラックで物資が運ばれ飲料・食料・医薬品・日用品それぞれに仕分けしました。ボランティア同士、仕分けしやすいよう列をつくり間違えないよう声を掛け合いました。



災害医療 対策訓練



医療生協から医師、看護師、事務の3名が医療看護訓練に参加しました。中等症の被災者の医療処置を行いました。



東京都生協連 のブース

パソコンを使った災害ゲームに200名以上の方が参加しました。親子で一緒に考え、楽しみながらゲームに挑戦していました。



被災地のふれあい喫茶のパネルなど、見学する人も多くいました。東京都生協連のブース来場者数は1483名もありました。



衛星携帯を使用し本部と連絡を取り合いました。



訓練を終えて:支援物資仕分けボランティアは、列の配置から声掛けまでボランティア同士が相談しながら決めて活動を行いました。一番効率のよい方法や、やりやすい方法などを考えながらより実践的な訓練ができました。実践的にしたこと想定していた訓練が最後までできなかつたり、課題も明確になり有意義な訓練でした。災害はいつ起こるかわかりません。その時そこにいた人がいかに協力できるか、どう対応するかでその後が変わっていきます。『自助と共助』そして『連携』がいかに大事か学ぶことができました。



多くの人で賑わいました。